

高隈地区コミュニティ協議会

団体の紹介・活動の目的

高隈地区コミュニティ協議会は、これからの高隈の将来のまちづくりを高隈地区全体で協議するため、平成25年4月、地元団体の代表52名で設立準備委員会を立ち上げ、平成27年7月に設立した。

高隈地区は、昭和30年の鹿屋市との合併以降、当時5,408人だった人口が、平成30年11月現在1,544人まで減少した。このような人口減少と反比例して増え続ける独居高齢者や耕作放棄地などの課題がある中、これらに対応し、自分たちで高隈地区を盛り上げようと活動している。

連携・協力している団体など

高隈・大黒町内会、保育園・小中学校、地元企業等

活動の内容

- まちづくり部会：石蔵を活用したイベントや講座の開催
高隈寺子屋や盆がま行事などの、青少年育成を実施
- 事業部会：観光ツアー受入を行い、ガイドも育成している。
高隈山登山ルートの整備し、登山者の利便を図る。
- 福祉部会：独居高齢者の状況把握のため、支え合いマップの作成
- 安全安心部会：避難区域ごとにハザードマップの作成
- スポーツ部会：グラウンドゴルフ大会、歩こう会等の実施

①



「石蔵完成記念式典」

総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金（集落ネットワーク圏形成支援事業）を活用して整備した石蔵の完成記念式典

②



「山菜弁当」

廃校になった高隈高校の家庭クラブで作られていた山菜弁当を復刻したもの。高隈への訪問者等に提供している。

③



「稲刈り体験」

休耕田を活用し、小中学生に稲刈り体験を実施。収穫後は、高隈を訪れたツアー客や、高隈元氣おこし祭り等で販売し、自主財源確保に繋げている。

④



「ドライブサロン」

社会福祉協議会と連携して、買物支援事業（ドライブサロン）を実施